

II きらきらと輝く人が育つまち

安らぎと豊かな人間関係、生きる力を育む、家庭教育

教育相談事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

○教育相談事業

3,483万円

児童生徒の心の悩みや不安などをじっくり聞き、その問題解決にあたるため、南風原町教育相談支援センター(心の教室)を設置し、青少年教育相談員を配置します。

また、児童生徒が悩み等を気軽に話し、ストレスを和らげることができるよう第三者的な存在として各学校に心の教室相談員(6名)を配置し、学校や関係機関と連携をとりながら、不登校や児童虐待など、児童生徒を取り巻く問題に対して速やかに対応します。

特別な支援を要する児童生徒については、特別支援教育相談員を配置し、就学相談等の保護者の支援に取り組みます。

さらに、学校に作業療法士を派遣し、児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組むとともに、中学校には、不登校の生徒の支援として適応指導教室、自立支援教室を設置し学習支援員を配置します。

主な経費	教育相談員・学習支援員報酬等	1,998万円
	心の教室相談員謝礼金	913万円
	作業療法士派遣・Q-Uテスト委託料	533万円
	消耗品費・電話代	39万円

~~~~~ ご相談はこちらまで ~~~~~

#### ○南風原町教育相談支援センター

場 所 南風原町総合保健福祉防災センター(ちむぐくる館)内  
電 話 番 号 098-889-0501

#### ○特別支援教育相談員

場 所 南風原町教育委員会 学校教育課(南風原町役場 4階)  
電 話 番 号 098-889-6181

#### ○心の教室相談員

場 所 各小中学校  
電 話 番 号 南風原小学校(代表)098-889-2088  
津嘉山小学校(代表)098-889-1230  
北丘小学校 (代表)098-889-6520  
翔南小学校 (代表)098-889-3401  
南風原中学校(代表)098-889-2095  
南星中学校 (代表)098-889-0432

☆お気軽にご相談ください☆

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 子ども平和学習交流事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

### ○子ども平和学習交流事業

147万円

町内の子どもたちが、戦争と平和、差別と人権について学習を深めるための事業です。町内小学校6年生8人を対象とします。仲間とともに学習を深めながら、平和や人権をめぐる事柄への関心を高め、視野を広げることをねらいとします。

経費は、主に県外研修の旅費や宿泊費などに使われます。数回の座学と県内での研修を経て、県外研修を行います。令和8年度の県外研修では広島県と京都府の資料館見学や戦跡めぐり、現地の方々との交流などを行います。そして、学んだことを発表し、報告書にまとめます。

#### 1. 県内での研修

##### ①学習会

沖縄戦やアジアの戦争の流れ、広島原爆、南風原の沖縄戦、学童疎開の実態などについて、資料や映像を用いながら学習します。また、ハンセン病などの人権問題についても事前学習を行います。



##### ②戦跡めぐり

町内、町外の戦跡をめぐり、沖縄戦について体験を通じた学習を行います。



黄金森にて飯上げ体験



読谷村 チビチリガマ

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## ③人権学習

名護市の屋我地にある国立療養所沖縄愛楽園を訪ね、交流会館の展示室見学、納骨堂や面会室などの敷地内の見学、学芸員からの解説を聞くなどして、ハンセン病の差別、人権問題について学習します。



愛楽園敷地内 (左)早田壕前、(右)面会室にて 学芸員の解説を聞く様子

## 2. 県外研修

令和7年度は、3泊4日の日程で広島県・京都府を訪れ、広島原爆やホロコースト、差別問題などについて学習します。資料館見学や戦跡めぐり、戦争体験者講話、現地の学生との交流・意見交換などを行い、平和や人権についての学習を深めます。

※写真は令和7年度の県外研修の様子



ホロコースト記念館での展示見学



広島 戦跡めぐり

## 3. 報告会・報告書刊行

学習したことを仲間で協力してまとめ、家族や学校の先生方、関係者に報告発表します。また、研修を通して考えたことや感じたことを作文にまとめ、報告書として刊行します。

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育



報告会の様子(中央公民館黄金ホール)



報告書まとめの様子

|      |                |       |
|------|----------------|-------|
| 経費内訳 | 平和学習ガイド、講師謝礼金等 | 8万円   |
|      | 引率旅費(職員特別旅費等)  | 15万円  |
|      | 施設使用料          | 1万円   |
|      | 補助金(児童8人旅費等)   | 109万円 |
|      | 補助金(引率教諭旅費等)   | 14万円  |

## 国際交流事業(育英会)

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

### ○国際交流事業(育英会)

1,359万円

町内の青少年リーダーを海外に派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、現地学校への体験入学やホームステイを行っています。この事業では、国際的視野を広めるとともに、ホームステイ先の家族らとの交流を深め、国際時代に柔軟に対応できる青少年を育てることを目的としています。訪問先はアメリカ合衆国ハワイ州と町の友好都市であるカナダ国レスブリッジ市で交互に行っています。令和7年度はアメリカ合衆国ハワイ州へ中学生(10名)を派遣。令和8年度はカナダ国レスブリッジ市へ中学生(10名)を派遣します。

#### 主な経費

国際交流事業に参加する生徒への育英会補助金  
1,359万円

#### 1. 事前研修

訪問国の教育・文化・歴史等について勉強します。また、南風原町についての調べ学習、英会話レッスン、および現地で発表する踊りなどを事前研修にて練習します。



事前研修の様子

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 2. 本研修

訪問先では、教育・文化・産業施設等の現地視察及び現地学校への体験学習を通して同世代の子と交流をしています。またホームステイも実施しています。



体験入学の様子



アロハパーティー

## 3. 事後研修

本研修で学んだ事を日本語と英語で報告書を作成します。また、育英会長・保護者・学校関係者・事前研修講師等に向けて報告会も開催しています。

## 放課後子ども教室推進事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

### ○放課後子ども教室推進事業

502万円

各小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して行われます。地域の方々が子どもたちと一緒に勉強やスポーツ・文化活動を行うことで、地域住民との交流の場を創り、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

主な経費

謝礼金(コーディネーター、協働活動サポーター、講師) 490万円

消耗品費 4万円 保険料等 8万円



折り紙工作



体験学習会「バルーンアート教室」

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 地域学校協働活動推進事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

### ○地域学校協働活動推進事業

748万円

地域の学校支援ボランティアが、町内各小・中学校の依頼に応じた1学校支援活動を展開することで、子どもたちは多様な体験ができ、学校教育の充実を図ります。また、地域住民が自らの経験や知識を子どもたちの教育に生かし、地域のきずなづくりにつなげることで、地域の教育力向上を図ります。

#### 主な経費

謝礼金(実行委員、コーディネーター(6名)) 700万円  
ボランティア懇親会費等 24万円 印刷製本費 17万円 役務費等 7万円



学習支援の様子



クラブ活動支援の様子

## はえばる大学運営事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

### ○はえばる大学運営事業

13万円

生涯学習の一環として広く仲間づくりを行いながら、自主的な学習活動の支援を行うことを目的に大学を企画・運営しております。南風原町の歴史・文化・教育や町づくりなどを学習しながら交流を深めます。

#### 主な経費

|             |      |
|-------------|------|
| 謝礼金(講師、運転手) | 10万円 |
| 消耗品費        | 2万円  |
| 燃料費         | 1万円  |



テーマは「防災」  
(南風原中央公民館)

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 陸軍病院壕公開活用事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

### ○陸軍病院壕公開活用事業

557万円

陸軍病院壕公開活用事業は、見学者の受付や日々の安全確認を行う管理人の報酬費、壕内の安全管理のための委託料など、陸軍病院壕の公開活用のための予算です。

南風原町は、平成2(1990)年に太平洋戦争(沖縄戦)時の“負の遺産”である「沖縄陸軍病院南風原壕」を全国に先駆けて町の文化財(史跡)に指定しました。戦争体験者が減少していく中、沖縄戦の記憶を後世に伝える「生き証人」としての壕を保存していくことがその目的でした。

文化財指定の後、平成19(2007)年には20号壕の一般公開を開始しました。ガイドの案内で壕内に入り、そこで起きた出来事を聞き、暗闇や空気を感じる体験を通して、戦争の悲惨さや愚かさ、平和を創造することの大切さを学ぶことができる場として活用しています。

令和7年度は、戦後80年の節目の年ということもあり、9年振り(2016年度)に10,000人を超える見学者が訪れ、新型コロナウイルスの影響で見学者数が激減していたところ、コロナ禍以前に見学者数が回復いたしました。今後も引き続き、町観光協会などと連携し活用を進めていきます。

#### 主な経費

1. 報酬 322万円  
・見学者の受付や壕内に設置されている観測機器の計測、ガイドのスケジュール調整等を行う管理人の報酬などです。
2. 職員手当等および旅費 132万円  
・管理人の期末手当および交通費などです。
3. 需用費 50万円  
・見学者が利用する懐中電灯などの購入費や配布するリーフレットの作成費、設備の修繕料、電気料金などです。
4. 役務費 1万円  
・見学者の安全を確保するための保険料です。
5. 委託料 52万円  
・壕内の臭気再現および安全を管理するための委託料です。



ガイドによる案内の様子



平和ガイド養成講座(第14期)

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 公民館活動の充実事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

### ○公民館活動の充実事業

4,147万円

生涯学習の活動拠点として公民館学級講座、サークル活動及び各種社会教育団体等の充実発展を目指して事業を展開いたします。

また、黄金ホールをフルに活用し、保育園・幼稚園から高校・大学等の教育活動の発表会や音楽・芸能・舞踊などの発表の場として、利用者・来場者の期待に応える施設作りを目指して参ります。

#### 主な経費

|                                |         |
|--------------------------------|---------|
| 公民館長、管理人(2名)、清掃員(2名)、公民館運営審議委員 |         |
| 報酬・手当等                         | 1,150万円 |
| 光熱水費                           | 793万円   |
| 冷房管理委託料など施設の管理委託費              | 1,961万円 |
| 他、コピー機使用料など事務経費                | 243万円   |

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 公民館講座事業

(担当部署: 教育部 生涯学習文化課)

### ○公民館講座事業

100万円

令和7年度は20講座を開催し、226人が履修しました。幅広い年齢層に向けて毎年趣向をこらして開催しております。また、各自治公民館でも出前講座を13回開催。

また「生涯学習・公民館まつり」を行い、自治公民館の実践発表や、公民館サークル会員が日頃の練習の成果を発表しています。

主な経費

公民館講座講師謝礼金

100万円

♪ 令和7年度の公民館講座 ♪

きもの着付け教室、フラダンス、おしゃれな島野菜料理、人間関係がもっとよくなるコミュニケーション技術、幸せが循環する終活ことはじめ、手作り折り紙雛人形他



- ・きつけ講座(写真左)
- ・人間関係がもっとよくなるコミュニケーション技術(写真中央)
- ・ヴォイストレーニング(写真右)

# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 給食共同調理場整備事業

(担当部署:教育部 教育総務課)

### ○給食共同調理場整備事業

6,940万円

学校給食共同調理場は、昭和63年に建築され築38年が経過しましたが、その間に給食の提供数が増えたこと等により、食材を受け取り検収をおこなうスペースの不足、食材の下処理をおこなうスペースの不足、トイレに脱衣所を設け手洗い場の新設を行うスペースの不足など、衛生管理基準の観点から面積を拡大する必要性があり施設の改修工事を実施します。

#### 主な経費

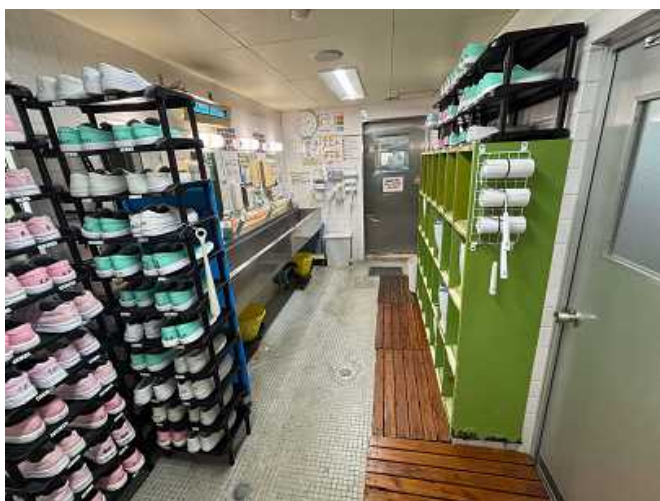
|             |         |
|-------------|---------|
| 給食共同調理場整備事業 | 6,940万円 |
| 工事費         | 6,613万円 |
| 委託費         | 327万円   |

#### 事業概要

|      |          |
|------|----------|
| R7年度 | 基本計画策定業務 |
| R8年度 | 改修工事の実施  |

#### 【財源内訳】

|          |         |
|----------|---------|
| 町債(町の借金) | 6,240万円 |
| 一般財源     | 700万円   |



▲既存の洗浄室



▲既存の下処理室

# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 学校給食用材料に係る経費

(担当部署:教育部 教育総務課)

### ○学校給食用材料に係る経費

3億6,345万円

学校給食費は、幼稚園児月額4,500円(一人当たり、一食262円)、小学生月額5,400円(一人当たり、一食297円)、中学生月額6,000円(一人当たり、一食330円)の11カ月分の給食費を徴収しています。また、一食あたりの平均栄養基準は、幼児490kcal、小学校650kcal、中学校830kcalになっています。

学校給食共同調理場では、総合的な安全管理を基本に、常に児童、生徒等に安全・安心でおいしい給食を提供するためにできる限り県内産、町内産を利用するように努めています。

平成25年度から開始した幼稚園給食(5歳児)に続いて平成28年度には、4歳児の給食も開始し、令和8年度から幼稚園給食の提供数を年間160食から190食(毎週1回の弁当持参を、毎月1回の弁当持参に)変更します。※令和7年5月1日時点の食数は5,801食となっています。



▲幼稚園児による給食センターの見学



▲琉球料理のゴーヤーのきんぴら、アーサじる、うむくじ天ぷら



▲調理員による作業(混ぜるところ)



▲野菜洗い場の見学

# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 調理場施設維持管理事業

(担当部署:教育部 教育総務課)

### ○調理場施設維持管理事業

2,338万円

園児・児童・生徒のみなさんからの給食費は、すべて給食の材料費として使っています。給食を作るためには調理場の電気代、水道料金、ガス代、食器を洗う洗剤等消耗品代などの経費が必要になります。また、平成27年度からは、調理員等の通常検便に加えてノロウイルスの検査も実施して食中毒等の重大事故を発生しないようさらに衛生安全も徹底しています。

|      |           |         |
|------|-----------|---------|
| 主な経費 | ボイラー用等燃料代 | 675万円   |
|      | 光熱水費      | 1,065万円 |
|      | その他(消耗品等) | 598万円   |

### 学校給食共同調理場にはこんな機械があります

- ガススチームコンベクションオーブン:スチームやオーブン等で調理する機械です。
- 食缶類洗浄機 : 2本のレーンで、高さの異なる食缶などを超高压水で洗浄します。
- 食器類洗浄機 : 食器の洗浄、整理まで自動処理します。スプーンなども自動洗浄します。
- 消毒保管庫 : 食器や食缶の消毒効果を高めるため、蒸気で温熱殺菌した後保管します。
- 高速ミキサー : 液体の攪拌・混合作業、タレ作りなどの機械。
- 自動フライヤー : 揚げ物によって、油温を調節し、美味しく調理することができます。



▲南風原産カボチャスープの調理



▲夏休みの清掃作業

# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 就学奨励事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

### ○就学奨励事業

8,323万円

経済的な理由等で児童生徒の学校生活が円滑に行われないういことがないよう、対象となる小・中学校の児童生徒の保護者に学用品費、修学旅行費、学校給食費などの援助を行っております。この事業には国、県からの補助金も含まれており、内訳は下記に示したとおりとなっております。

主な経費

|                |         |
|----------------|---------|
| 要保護準要保護児童生徒援助費 | 8,026万円 |
| 特別支援教育就学奨励費    | 297万円   |

【内訳】

|       |         |
|-------|---------|
| 国県補助金 | 189万円   |
| 町負担分  | 8,134万円 |



## 幼稚園就園援助事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

### ○幼稚園就園援助事業

253万円

町立幼稚園に通う園児の幼稚園生活が円滑に行われるように、生活保護世帯及びその援助の対象となる園児の保護者に対し、預かり保育にかかるおやつ代を町が援助を行います。

主な経費

|          |       |
|----------|-------|
| 幼稚園就園援助費 | 253万円 |
|----------|-------|



# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 幼稚園にかかる経費(各幼稚園経費除く)

(担当部署:教育部 学校教育課)

### ○幼稚園全体にかかる経費

1億9,363万円

南風原町では、平成28年度より各幼稚園で4歳児保育を開始し、2年保育を実施しています。

#### 主な経費

|                        |         |
|------------------------|---------|
| 園長・学校医等に係る費用           | 2,018万円 |
| 幼稚園教諭、事務等会計年度任用職員に係る費用 | 6,974万円 |



### ○預かり保育事業

幼稚園の教育時間終了後、共働き等の保護者ニーズに応え預かり保育を実施しています。予算としては、会計年度任用職員等の賃金を経費を計上しています。

土曜預かりについては、2園合同で行っています。

また、預かり保育は、平成27年度より子ども・子育て交付金の「一時預かり事業」となり、国から一部補助金を受けています。

#### 主な経費

|                  |         |
|------------------|---------|
| 預かり保育会計年度任用職員報酬等 | 1億371万円 |
|------------------|---------|

## 幼稚園にかかる経費

(担当部署:教育部 学校教育課)

### ○各幼稚園にかかる経費

2,683万円

町内4幼稚園の園児たちが安心して幼稚園での生活が送れるように施設の維持や教材費にかかる経費となっています。建物の修繕費、電気・水道などの光熱費、行事で使う事務用品代を支出しています。

#### 主な経費

|        |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|
| 南風原幼稚園 | 698万円 | 北丘幼稚園 | 681万円 |
| 津嘉山幼稚園 | 764万円 | 翔南幼稚園 | 540万円 |



# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 英会話教育の充実

(担当部署:教育部 学校教育課)

3,121万円

### ○英会話教育の充実

#### 1. 中学校での英会話教育

国際理解教育の一環として、英語を母国語とする外国人とのコミュニケーションにより英語に親しみ、また国際社会で使える英語を習得させることを目的として、南風原中学校、南星中学校にそれぞれ1名の外国人英語指導助手(ALT)を配置します。

主な経費

外国人英語指導助手報酬(諸手当含む) 981万円

#### 2. 小学校での英会話教育

町では、いろいろな国を学ぶための学習のひとつとして、英語教育活動を行い、児童が英語に触れたり、外国の文化に慣れ親しむ体験活動を行っています。そのために、町内にある4つの小学校に、英語に関する専門的な知識を持った6名の日本人の英語指導助手(JTE)を配置します。

主な経費

小学校英語指導助手報酬(諸手当含む) 2,140万円



# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 学校教育事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

### ○学校教育事業

5,269万円

学校教育課が管理する小・中学校や幼稚園に関する経費で、町内全ての学校で共通して必要な事に使います。例えば、小中学校のパソコンのサーバーの保守管理委託料やPCソフトライセンス使用料、などの費用を支出しています。また、中学校教員の負担軽減や部活動の地域展開を目的に、部活動指導員の配置を行います。

#### 主な経費

|                |       |               |         |
|----------------|-------|---------------|---------|
| 学校情報推進員報酬      | 546万円 | 町学力向上推進委員会補助金 | 149万円   |
| パソコン保守管理委託料    | 539万円 | 島尻地区教育研究所負担金  | 453万円   |
| ライセンス使用料       | 96万円  | 部活動指導員報酬等     | 841万円   |
| ネットワーク環境整備備品購入 | 418万円 | その他の経費        | 2,227万円 |



▲令和7年度教育長表彰の様子

# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 特別支援教育支援員(ヘルパー)配置事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

### ○特別支援教育支援員配置事業

1億4,186万円

発達障害や肢体不自由などの障がいを持った幼児・児童・生徒が町内の幼稚園や小学校、中学校に通園・通学しています。障がい児一人ひとりの教育を保障し、自立して生きていくことのできる力を育むことが重要となっています。

その幼児・児童・生徒達が安心・安全に学校生活を送ることができるよう支援するため、特別支援教育支援員を配置し、始業時から下校時までの間を支援しています。令和8年度は、幼稚園に28名、小学校に20名、中学校に4名を配置します。

主な経費 (内 訳)

|     |         |
|-----|---------|
| 幼稚園 | 6,699万円 |
| 小学校 | 6,215万円 |
| 中学校 | 1,272万円 |



## 学力調査事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

### ○学力調査事業

1,329万円

#### 1. 事業の目的

学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げる。

#### 2. 事業内容

- ①標準学力調査 小学校4校 3年:国語・算数 4年:国語・算数
- ②学力調査の実施 中学校2校 3年:国語・数学・理科・社会・英語
- ③リーディングスキルテストの実施 小学校4校 5年～6年、中学校2校 1年～2年
- ④達成度確認テストの実施 中学校2校 1年～3年 国語・数学・理科・社会・英語

#### 3. 経費 1,329万円

- ① 学力調査委託料 584万円
  - (1) 標準学力調査(小学3年、小学4年) 91万円
  - (2) 学力調査(中学3年) 84万円
  - (3) リーディングスキルテスト  
(小学6年、中学1～2年、教員) 409万円
- ② 達成度確認テスト委託料(中学校) 745万円



# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 学校ICT推進事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

### ○学校ICT推進事業

5,074万円

学校においてパソコン等のICT機器を充実させ、機器を活用した授業の機会をつくるなど、魅力ある授業を行うことで、学力向上を図ります。

令和8年度は、液晶モニター型電子黒板一式の整備を行います。

#### 主な経費

1. 備品購入費 5,074万円  
電子黒板一式の購入
  - ・小学校費 3,513万円
  - ・中学校費 1,561万円



【参考】R6年度に導入した液晶モニター型電子黒板

## 小学校(学校管理費・教育振興費)

(担当部署:教育部 学校教育課)

### ○小学校(学校管理費・教育振興費)

1億3,363万円

町内にある4小学校(南風原小学校、津嘉山小学校、北丘小学校、翔南小学校)の子どもたちが安心して学校生活を送れるように、学校設備の維持・管理及び各教科やクラブ活動などにかかる経費となっています。学校管理費として、学校で使う電気・ガス・水道の光熱水費、学校施設の修理などの費用に使われます。また教育振興費として、各教科で使う教材や備品などの費用として使われ、例えば体育で使うマットや図工で使う絵画作品乾燥棚などを購入する経費となっています。

|              |         |             |         |
|--------------|---------|-------------|---------|
| 南風原小学校にかかる経費 | 3,644万円 | 北丘小学校にかかる経費 | 3,420万円 |
| 津嘉山小学校にかかる経費 | 3,504万円 | 翔南小学校にかかる経費 | 2,795万円 |

# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育



▲令和7年度に購入した机、椅子（学校管理費）と地球儀（教育振興費）

## 中学校（学校管理費・教育振興費）

（担当部署：教育部 学校教育課）

### ○中学校（学校管理費・教育振興費）

6,761万円

町内にある2中学校（南風原中学校、南星中学校）の生徒たちが安心して学校生活を送れるように、学校設備の維持・管理及び各教科の教材などにかかる経費となっています。

学校管理費として、学校で使う電気・ガス・水道の光熱水費の費用、学校施設の修理などの費用に使われます。また教育振興費として、各教科で使う教材や備品などの費用として使われ、例えば体育で使うロイター板やプール用コースロープなどを購入する経費となっています。また、各種大会で優秀な成績を納めた生徒たちを県大会や九州大会などへ派遣する費用も支出しています。

南風原中学校にかかる経費 3,593万円

南星中学校にかかる経費 3,168万円



▲令和7年度に購入した折りたたみベッド（学校管理費）と色画用紙整理棚（教育振興費）

# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 学習支援員配置事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

4,446万円

### ○学習支援員配置事業

町立小・中学校に学習支援員を2名ずつ(計12名)配置し、個別に学習支援を必要とする児童生徒に対して、同支援員を活用し基礎学力を定着させます。また、教育相談事業においても、町立中学校(2校)へ適応教室指導員、自立支援教室指導員(各1名ずつ)の学習支援員を配置しています。



学習支援員による指導風景

#### 主な経費

|     |         |
|-----|---------|
| 小学校 | 2,942万円 |
| 中学校 | 1,504万円 |

## 公立学校情報機器整備事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

1億767万円

### ○公立学校情報機器整備事業

文科省が提唱する「GIGAスクール構想の第2期」に向け、令和3年度に導入した児童生徒一人一台端末の入れ替えを令和8年度から順次実施し、個別最適な学びや協働的な学びなど多様な学びの姿に対応した環境を実現していきます。

#### 主な経費

○備品購入費 1億767万円

児童生徒一人一台端末の購入

- ・小学校費 7,386万円
- ・中学校費 3,381万円



【参考】▲令和3年度に各教室へ配置した児童生徒一人一台端末

# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 学校照明LED化事業

(担当部署:教育部 教育総務課)

### ○学校照明LED化事業

9,094万円

南風原町立小・中学校の校舎等の照明は、その多くが蛍光灯照明が使用されておりますが、令和9年度には蛍光灯照明が生産終了となる事から教室、体育館等をLED照明に更新する必要があります。LED照明に変更する事で教育環境の質の向上や低炭素化社会の実現にも貢献します。令和8年度に南風原小学校、翔南小学校を整備します。

#### 主な経費

小学校校舎等LED工事費 5,292万円  
中学校校舎等LED工事費 3,802万円

#### 事業計画

R8年度 南風原小、翔南小、南風原中

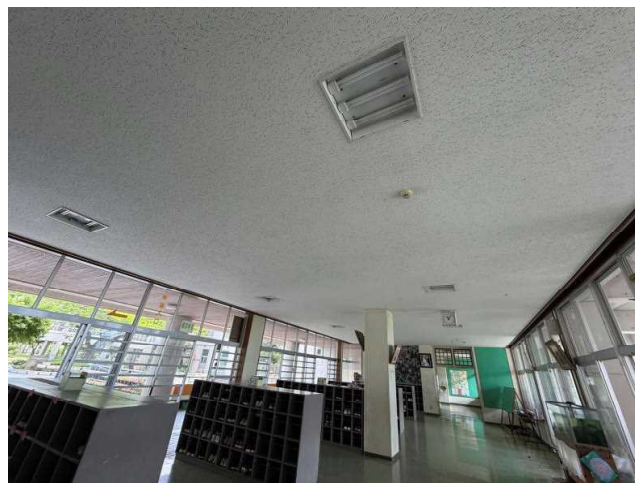
#### 【内訳】

県の補助 3,031万円  
町債(町の借金) 4,540万円  
一般財源 1,523万円

#### ◇学校照明の状況



▲既存照明状況写真①



▲既存照明状況写真②



▲LED照明イメージ①



▲LED照明イメージ②